

あなたの声を議会に...



No.137

(年4回発行予定)

令和5年11月16日発行

# 市議会だより



特別国民体育大会 / 燃ゆる感動がしま国体 フェンシング競技 (R5.10.8 ~ 10.11 垂水中央運動公園体育館)

## 目次

【令和5年第2回臨時会】.....	2
錦江湾横断道路推進特別委員会.....	3
【令和5年第3回定例会】.....	4 ~
一般質問.....	7 ~
議案等の審議結果.....	14
令和5年第4回定例会日程案 編集後記.....	16

発行 / 垂水市議会  
 編集 / 垂水市議会だより編集委員会  
 鹿児島県垂水市上町 114 番地  
 Tel 0994-32-1111 (内線 358)  
 メールアドレス  
 t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会  
ホームページの入り口

令和5年  
第2回臨時会

# 一般会計補正予算 (第3号)(案)可決

## 一般会計予算総額 118 億 8,756 万円

第2回臨時会は、8月8日の会期1日で開かれました。

臨時会では議案2件が審議されました。どちらも和解及び損害賠償についてのものです。

具体的には、農林課が管理する農道の除草作業中に、相手方が敷設していた水道管を損壊したことに伴う製造機の損害及び製造機が使用できなくなったことによる逸失利益を賠償し、和解を求めるものです。

議員から今後の対策について質疑があり、「社会情勢の変化も含めて様々なケースへの想定を行うことで、類似案件に対する再発防止策を講じる」とのやりとりがありました。

和解につきましては、損害賠償として、92万1074円を垂水市が支払い、今後本件に関しては互いに債権債務のないことを相互に確認する内容となっております。

※審議結果は14ページに掲載

### 公営企業決算特別委員会

6月30日に設置され、7月21日に開催されました協議の内容をお知らせします。

議案第42号  
令和4年度垂水市水道事業  
会計剰余金の処分及び決算  
の認定について

【議案に対する質疑】

#### 耐震化の進捗

**問** 現在の耐震化の進捗について伺う。

**答** 平成30年度に水道ビジョンの作成と同時に経営戦略を立て、令和2年度から毎年1億円程度の予算で耐震化の更新事業を行っている。進捗状況は10%に届かないほどで、期間は40年をめどに完了する見込みである。現在は避難所のような防災拠点につながる基幹管路を主に工事しており、全体24キロメートルのうち4分の1ほどである約6キロメートルが終了している。

議案第43号  
令和4年度垂水市病院事業  
会計決算の認定について

【協議結果】

両議案とも適正であると認め、認定することに意見の一致

#### 公営企業決算

#### 特別委員会

委員長	川畑三郎
副委員長	梅木勇
委員	感王寺耕造
篠原静則	
新原勇	
高橋理枝子	

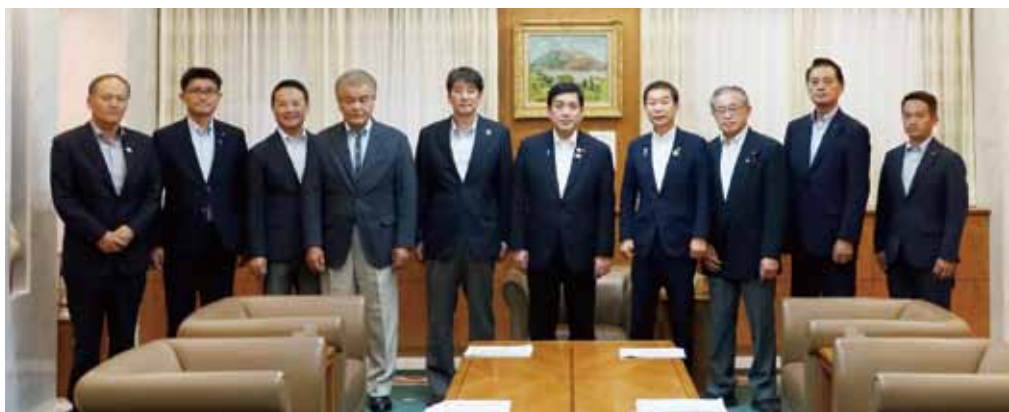
# 錦江湾横断道路推進特別委員会 早期事業化に向けた活動

かごしま新広域道路交通計画に構想路線として位置付けられた錦江湾横断道路の早期事業化に向けて要望していくため、6月30日「錦江湾横断道路推進特別委員会」を設置しました。

錦江湾横断道路の早期実現は、交通の利便性の向上や生活圏の拡大、観光資源としての活用など、垂水市をはじめ大隅半島、九州南部地域における産業・経済・文化の発展に寄与するとともに、近年、激甚化傾向にある自然災害への対応や救急医療体制の確保など、防災・医療の観点からも「命を守る道路」であり、必要不可欠であります。

そのため、8月31日に塩田鹿児島県知事に表敬訪問し、構想路線の位置付けに対するお礼と特別委員会の設置報告を行いました。

また、9月8日～27日にかけて鹿屋市、霧島市、志布志市、曾於市、南大隅町、錦江町、肝付町、大崎町、東串良町の4市5町に伺い、同様に設置報告を行いました。今後とも錦江湾横断道路の早期事業化に向けて取り組んでまいります。



			錦江湾横断道路推進 特別委員会					
委 員	副 委 員 長	委 員 長						
高 橋 理 枝 子	前 田 隆 勇	梅 木 信 男	川 越 信 男	宮 迫 隆 憲	池 山 節 夫			



令和5年  
第3回定例会

# 一般会計補正予算 (第5号)(第6号)(案)可決 一般会計予算総額 121億9,467万円

第3回定例会は、9月1日から9月25日まで25日間の会期で開かれ、20件の議案や請願等が審議されました。

定例会では、給食センター施設の維持補修に伴う修繕料や旧猿ヶ城キャンプ場の測量業務委託等に係る一般会計補正予算(第5号)1億6,536万円の増額は、賛成多数で可決され、半島振興・広域連携促進事業や法定外公共物境界確定請求に関する訴えの提起に伴う弁護士費用に係る一般会計補正予算(第6号)282万円の増額は、全会一致で可決されました。

また、0～2歳児の保育料も無償化を求める請願についても全会一致で採択されたほか、追加上程された第58号「退職金返還請求権の権利の放棄について」、第59号「垂水市学校給食費損害賠償請求権の権利の放棄について」の2議案とも全会一致で可決されました。

※審議結果は15ページに掲載

一般質問では12名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は7ページから掲載

## ～令和5年度一般会計補正予算(第5号)の主な事業～

### 森林環境税賦課用システム改修

294万円

令和6年度から森林環境税の賦課が始まることに伴い、制度改正に対応した基幹システムの改修

### 空き家解体補助費用

450万円

市民の安心安全のため、市内業者が空き家解体を行う場合に費用の一部を補助するもの

一般会計補正予算(第5号) 1億6,536万円

### 給食センター施設の維持補修

388万円

コンビオープン本体、冷凍庫ドアパッキン、揚げ物用フライヤーガスユニット等の取替

### 旧猿ヶ城キャンプ場の測量業務委託

330万円

整備や誘致活動等再開発の検討をはじめに当たり、正確な境界・面積等を測量するもの

産業厚生委員会

9月14日に産業厚生委員会が開催され、9月1日・9月12日の本会議において付託された議案や請願について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

垂水市立公園の設置及び管理に関する条例 案

付託内容

宮脇海岸公園、牛根境の鉄道記念公園、水之上団地公園を公の施設として位置付けることを目的に新たに条例を制定しようとするもの。

主な質疑

**問** 宮脇公園に対する民間業者へのサウンディング（対話型市場）調査の結果はどのようなものか伺う。



**答** 国内でも屈指のロケーションを有する宮脇公園にグランピング施設を設置し、交流人口や関係人口の増加に寄与したいという提案があった。

令和5年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案

付託内容

委員会所管の事項で、保育所等給食費支援事業、生活保護基準改定に伴うシステム改修、地域介護・福祉空間整備等施設整備事業交付金、火葬場の火葬用台車耐火レンガ交換修繕、園芸産地再生産事業補助金、旧猿ヶ城キャンプ場の測量業務などを審査。

主な質疑

**問** 生活保護基準改定に伴うシステ

ムはどうして改修が必要になったのか伺う。

**答** 5年ごとに見直される生活保護の基準額の改定が、令和5年10月1日付で実施されることに伴うもので、併せて昨今の物価高騰対策として臨時的な特例加算への対応も行う必要が生じたことによるものである。

令和5年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案

付託内容

法定外公共物境界確定請求に関する訴えの提起に伴う弁護士費用、半島振興広域連携促進事業に係る増額を審査。

主な質疑

**問** ワークেশョンの将来的な方向性について伺う。

**答** 地域の現状や魅力を知っていたら、最終的には移住・定住につながるようにしたい。



0〜2歳児の保育料も無償化を求める請願

請願内容

物価高騰が続く中で、子育て世帯の方々の経済的な困窮が特に進んでいる。こうした状況の中、垂水市においても少子化がますます進むことが危惧され、少子化を食い止めるためにも一層の子育て環境の整備が求められている。

現在、幼稚園・保育園・認定こども園等に在園する3歳児以上及び、0〜2歳児の住民税非課税世帯の保育料は無償化されている。垂水市においても子どもを産み育てる環境をより豊かにする一環として、住民税課税世帯を含めた全ての0〜2歳児の保育料無償化を求める請願。



【審査結果】全会一致で「採択」

総務文教委員会

9月15日に総務文教委員会が開催され、9月1日・9月12日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

**垂水市火災予防条例の一部を改正する条例 案**

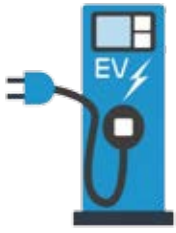
付託内容

総務省消防庁からの通知を受け、「急速充電設備に関する事項」及び「喫煙等に関する規定の見直しに関する事項」を改正するもの。

**令和5年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案**

付託内容

委員会所管の事項で、庁舎のあり方検討委員会、電算システム改修導入委託の住民票のふりがな記載、給食車両の購入に係る増額



**問** 改正理由や道の駅等に設置している電気自動車の急速充電設備の管理体制について伺う。

**答** 改正理由は、安全性に問題なかったことから、出力の上限をなくすための改正であり、急速充電設備の管理体制については、電気保安協

**問** 新しく購入する給食車両の購入時期について伺う。

**答** 車両の調達が現状まだ厳しい状況である。納期がどれくらいかかるのか確認しながら執行していきたい。



**退職金返還請求権の権利の放棄について**

付託内容

退職金返還について返還請求を行ってきたが、債務者が亡くなったことに伴い、残額の請求を行ったが、相続者全員の「相続放棄」の手続きが確認された。請求できる相手がいないことから、退職金の返還請求は終了せざる得ないこととなったことから権利の放棄をするもの。  
債権額 909万円

**垂水市学校給食損害賠償請求権の権利の放棄について**

付託内容

給食費不明金の調査委員会の調査に基づき請求を行ったが、債務者が亡くなったことにより、相続人の調査を行い、全ての相続対象者が「相続放棄」の手続きが確認された。この結果、請求できる相手がなく、賠償請求は終了せざるを得ないことから権利の放棄をするもの。  
債権額 2293万6291円

主な質疑

**問** 今後の対応や課題と教訓について伺う。

**答** 今後の対応としては、不能欠損として対応を行う。課題と教訓については、もう少し早く民事訴訟を起せば、回収できたかどうかは別になるが、状況が変わった可能性があるかもしれないと考えている。

主な質疑

**問** 今回の課題と教訓について伺う。

**答** 当時は、組織としての管理体制が出来ていなかったことが原因となっている。現在は、銀行印を給食センター所長である課長が保管、通帳を給食費会計担当者が管理をして、丁寧な対応をしている。また、運営協議会を設置して監査報告にPTAの役員を入れるなど再発防止に努めている。

令和5年 第3回定例会

# 一般質問

12議員が登場！

## 市政を問う



第3回定例会において、12名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

12番	11番	10番	9番	8番	7番	令和5年9月13日	6番	5番	4番	3番	2番	1番	令和5年9月12日	【質問者】 ※質問順
持留 良一	北方 貞明	宮迫 隆憲	新原 勇	篠原 静則	川畑 三郎		梅木 勇	池田 みすず	池山 節夫	高橋 理枝子	前田 隆	川越 信男		
議員	議員	議員	議員	議員	議員		議員	議員	議員	議員	議員	議員		
P13	P12	P12	P11	P11	P10		P10	P9	P9	P8	P8	P7		



川越 信男 議員

「たるみずふれあいフェスタ 夏祭り」について

**問** 今回のフェスタの予算総額と協賛金が幾ら集まったのか、また予算に占める協賛金の割合と、今回の夏祭りによる経済効果がどれくらいあったのか伺う。

**答** 今回のふれあいフェスタ夏祭りの予算は1418万円である。そのうち協賛金が750万円である。予算に占める協賛金の割合は約53%、前回開催した2019年度の予算が1316万円である。そのうち協賛金が961万円であったので、予算に占める協賛金の割合は約73%である。協賛金については、前回に比べて約32%減である。

本市小中学生のいじめ・不登校の状況について

**問** コロナ禍の3年間で全国的に不登校の児童生徒の数が増えてきていると言われているが、本市の児童生徒の不登校の状況についてはどうなっているか、いじめ問題の状況と併せて伺う。

**答** 不登校については、明らかな病欠を除いて年間30日以上欠席のある児童生徒を不登校としている。小

学生は全国1.3%に対し本市は0.6%と少なく、中学生は全国5.0%に対し本市は4.8%とほぼ同程度である。いじめ問題については早期の軽微なうちに発見、認知し、いじめを受けた、あるいは訴えてきた児童生徒の心情に寄り添い、保護者とともに協力して迅速に組織で対応していくことが必要であると認識しており、その認識のもと解決に努めるよう各学校へ指導しているところである。

林業大学校誘致について

**問** 県の動向を受け、関連する自治体では様々な動きがなされていると思うが、林業大学校設置について現在話せる情報を伺う。

**答** 林業の即戦力となる人材育成を求める声が上がっていることから、林業大学校の設置は安定的な人材確保につながり、今後設置すると判断された場合には、設置場所、具体的な研修内容や定員数について方針を決定していくようである。本市としても、林業大学校の設置について非常に期待しているところである。



【その他の質問】  
○台風6号被害について  
○合併浄化槽について



前田 隆 議員

燃やせるゴミの減量と  
リサイクルについて

**問** 大崎町・志布志市は燃やせるゴミから使用済紙おむつを分別回収し、再利用する取組をユニ・チャームと連携し、実施している。この取組を2市4町で構成する大隅肝属広域事務組合で出来ないか提案してはどうか。また、直接、この事業に参加出来ないか、大崎町・志布志市に打診・相談してみてもどうか見解・答弁を求める。

市長にもこの取組に見解を伺う。

**答** 大隅肝属広域事務組合では平成29年度に4市5町で紙おむつの再資源化を目的とした可能性調査が実施され、その調査結果を基に、検討の結果、費用対効果等で取り組まないとの結論に達し、現在に至っていることから困難と考えられる。事業への直接参加の打診は現在、実証実験中との理由で参加については回答出来ないとのことだった。

**市長答弁** 使用済み紙おむつの再資源化が促進されることは、ごみの減量化や温暖化対策に寄与するものと認識し、望ましいものと思われる。

引き続き、状況を確認しながら、チャンスを捉えて、そのことに参画できるように検討して参りたい。

生成AIチャットGPTの  
活用について

**問** 他市では既に取り入れて活用している自治体もあるが、チャットGPTに対し、どのような評価と庁内業務に活用予定はあるか。また、活用予定ならどのような活用とルール作りが必要だがどう対応するのか伺う。

**答** 生成AIをめぐる技術革新は様々な利点をもたらす一方、プライバシーや著作権の侵害など様々な課題が生じるものとの見方もある。庁内業務の活用には情報収集の手段として業務の効率化やスピード化が期待されるが、生成AIの様々の課題や規制の在り方を見極めつつ、検討する必要がある。今後、チャットGPT等の外部サービスを利用する際はリスクを考慮した上で、利用可能な業務の範囲をあらかじめ特定し、利用目的や利用者の範囲を定めたルール作りが必要と考えている。

- 【その他の質問】
- マイナンバーカードとマイナ保険証について
  - 水道事業について



高橋 理枝子 議員

ごみ出し困難者について

**問** ごみ出し困難者の現状を伺う。ごみ出し困難者支援事業をするに当たり、国の高齢者世帯に対するごみ出し支援に係る特別交付税措置があるが見解を伺う。

**答** まず、特別交付税の措置については、市町村が行う支援事業に要する経費が創設されている。次に、ごみ出し困難者の現状については、相談があった際は有料ではあるが、市内の一般廃棄物処理業者を紹介している。30件程度であり、また地域住民による支援も実施されている。地域包括支援センターでも利用者の同意を得て、業者やシルバー人材センターなどを活用して衛生上不潔にならないように対応している。本市は独自の方法について先進地事例を参考にしながら進めていきたい。

英検補助制度について

**問** 本市独自の英検補助制度の対象は、垂水中央中学校に在籍する生徒の保護者となっているが、小学生にも適用できないか受験会場の問題も含めて伺う。

**答** 英検は子供たちの力を伸ばすだけでなく、将来に生かすことができる資格である。子供たちや保護者のニーズを調査するとともに、小学生への受験補助についても関係各課と協議しつつ、受験会場の問題と併せて検討していく。

垂水市の花いっぱい運動花壇  
整備委託事業について

**問** 旧垂水港ロータリーの花壇、道の駅たるみずはまびらの国道側花壇への取組があるが、もっと市民や訪れる人の目に触れる場所、例えば玄関口である垂水新港から国道220号へと入る道の側道に花などを植えてきれいに整備する考えはないか。また、市民を巻き込んで花いっぱい運動に取り組む考えはないか伺う。

**答** 垂水新港は県有地であり、今後県と協議していく。大隅の玄関口であるから、より効果的に行い、今は2か所を中心に整備しているが、他にも色々な場所を検討していく。

- 【その他の質問】
- 子供の居場所について
  - 児童生徒の視力について
  - かごしま国体花いっぱい運動取組について

- ふるさと納税について
- 移住者を増やすには
- 道の駅たるみず湯つ足り館のサイクリング事業について





池山 節夫 議員

錦江湾横断道路推進特別委員会を設置し、実施路線化と早期着工を！

**問** 議会において6月30日に錦江湾横断道路推進特別委員会が設置され、私が委員長に就任させていただいた。8月8日に尾脇市長を会長とする垂水市錦江湾横断道路推進協議会が設立され、8月31日には塩田知事を表敬訪問して、協議会設立の報告と今後の実施路線化に向けた協力をお願いしている。錦江湾横断道路実現に向けて機運も盛り上がっているように思うが、市長の見解と今後の見通しについて伺う。

**答** 錦江湾横断道路については、令和3年6月に県のごしま新広域道路交通ビジョン及び計画において、新たに構想路線と位置付けられ、翌7月には国土交通省の九州地方新広域道路交通計画においても構想路線として位置づけられた。錦江湾横断道路の早期実現は、交通の利便性向上や生活圏の拡大、観光への活用など本市をはじめ大隅半島や九州南部地域における産業、経済、文化の発展に寄与するとともに、近年激甚化傾向にある自然災害への対応や救急医療体制の確保など、防災・医療の観点からも命を守る道路であり、必

要不可欠と考えている。

高速船の就航について

**問** コロナも5類となり、大型クルーズ船が入港するようになった。マリナーポートかごしまから旧垂水港の浮き桟橋に高速船を就航させる可能性について見解を伺う。

**答** マリナーポートかごしまにクルーズ船が寄港した際の本市への観光客誘致の手段として、マリナーポートかごしまと本市のほとんどと館前にある浮き桟橋を約25分で結ぶ航路について、株式会社なんきゅうが取得された。今後は、この不定期航路を利用しての誘客が期待される場所である。



農道城山線の整備について

**問** 先日、市民の方からこの農道の整備について要望をいただいた。抜本的な対策が必要と考えるが、今後の対策について伺う。

**答** 当該路線は田神上後馬場地区から市木葉野地区へ通る農道城山線であるが、今後、当該区域内の立木調査を実施し、歩行者や通行車両の安全性等も考慮しながら、予算の範囲内において伐採作業等を中心とした維持管理で対応していきたいと考える。



池田 みすず 議員

学童保育について

**問** 6月議会において、垂水児童クラブで受入れができなかった児童に対しては水之上、協和児童クラブへ案内したとの答弁であった。しかしながら、希望した全児童が利用できなかった現状を踏まえ、今後の対応について伺う。

**答** 新たな実施場所の検討として水之上小学校、協和小学校から距離的に近い場所に当たる教職員住宅について検討したが、建物の面積が狭いことや老朽化している為大規模改修が必要であり、加えて児童クラブとして活用した場合、児童クラブまで車で送る必要があるため、現在の取組と同様の取扱いになることから教職員住宅の活用は難しい。来年度の利用申込受付の準備を昨年度より早い時期に把握すべきと判断し、9月5日に垂市内児童クラブの担当者と会議を実施し、来年度入学予定の未就学児童に対する児童クラブ利用意向調査の実施については9月から10月頃をめどに実施する予定。調査結果の結果については、保護者に直接したいと考える。

子育て支援・少子化対策について

**問** こども家庭庁は令和5年6月28日付で放課後児童クラブにおける食事提供についての事務連絡を発し、独り親家庭や経済的な困難を抱える家庭等の子どもについては特に小学校における夏季等の長期休業期間中の食事について配慮が必要であると考えられるが、どのように検討されたのか伺う。

**答** 担当者会議において他の自治体の取組について情報提供を行い、その後保護者から児童クラブに寄せられた意見や児童クラブの考え等を伺ったところ、食中毒など衛生面で不安がある。共働きで毎日弁当を作る負担が大きいといった意見や、児童クラブでの昼食提供を希望するとの意見もあった。また、児童クラブ側も持参した弁当の保管について衛生面で苦慮されており、保護者からの希望もあることから、昼食提供の必要性について認識している。今後も他の自治体の取組等の情報収集を行うとともに、担当者会議において引き続き協議したいと考える。

【その他の質問】

- 訪問給食サービス事業
- 高齢者等SOSネットワーク事業
- 伴走型相談支援
- 子育て世代に対する新たな支援策
- 垂水高校への支援として給食提供



梅木 勇 議員

元垂水、川崎地区  
運動広場の整備を

**問** 運動広場は、地域の子供から高齢者まで遊び、運動を通じて触れ合いたいという思いの場として利用され、子供たちの砂場など遊具もあったが、現在の運動広場はトイレ等休憩施設は閉じられ、周りの広場は草が生い茂り、遊具もなくなっているのが現状である。新たな整備を行い、利用促進は図れないか伺う。

**答** 元垂水地区住民をはじめ市民の皆様が、安全に利用できるよう草払い作業を計画に組み込み、定期的な作業に加えて環境整備に取り組んでいきたい。また、新たな整備については元垂水地区の住民などから今後の在り方等、様々な意見を聞き取り、市民ニーズに沿って総合的に進めることが必要であると考えている。



元垂水 川崎地区運動広場

選挙の期日前投票所の  
変更と増設を

**問** 今年は市長選挙をはじめ3選挙が行われたが、期日前投票はいずれの選挙も前回を上回り、市長選挙では46%、市議会議員選挙では44%、5千人を超える投票者数となっており、新城地区においては投票日当日より期日前投票の方が多く結果となっている。現在の投票所は数台の駐車しかできず、投票に行かれた方々から駐車場所を探すのに周辺をぐるぐる回ったとの声が聞かれたが、投票所を市民館か文化会館に変更できないか。また、牛根、新城に増設できないか伺う。

**答** 投票所の増設、変更の必要性は投票率向上や投票者利便性の向上の観点から重要であると認識しているが、期日前投票における時間帯別利用状況による周知や来場者の多い選挙期日前日においては、公用車を移動させて、期日前投票用の駐車場を確保し、対応を行うとともに増設・移設については本市の現状に照らし合わせ、投票率向上を目指した取組を実施していきたい。課題の人員確保については、総務課と協議を行う必要性があると考えている。

【その他の質問】

○特産品PR看板設置を市内各地に



川畑 三郎 議員

台風6号による被害状況について

**問** 台風6号が8月8日九州南部に接近、迷走に迷走を続け、速度が遅く、長い間暴風雨に見舞われた。被害の状況を伺う。

**答** 3日間の総雨量が垂桜で667ミリより、市道高峠線で大規模な路肩崩壊、各地で崩土除去、倒木処理、路面清掃、排水路の整備等を早期に行った。水産業で両漁協の被害は少なかった。

原発処理水の海洋放出について

**問** 東京電力福島第一原発処理水の海洋放出が始まった。本市における水産業への影響があるのか。

**答** カンパチにおいては生産日本一で、ブリにおいては国外輸出日本一、国内有数の養殖漁場であり、風評被害を大変心配している。現時点では出荷等に影響はないと思っているが、処理水の放出が続くようだと出荷及び輸出、さらにカンパチ稚魚購入などを含め、何らかの影響が出るのではないかと心配している。両漁協と密に連携しながら対応していく。

小中学校洋式トイレ設置状況

**問** 小中学校のトイレ洋式化について整備率、整備状況、多目的トイレの設置状況を伺う。

**答** 本市小中学校におけるトイレの洋式化は令和5年9月現在で小学校が約26%、中学校が約57%、小中学校合わせて約33%である。小学校は平成30年までに洋式化工事を行い、各学校に1基ないし2基の洋式トイレを設置、中学校は統廃合による大規模改修工事で男女合わせて7基を設置している。本市小学校の校舎や体育館はほとんどが40年以上を経過し、施設の老朽化が進んでいることから学校施設等長寿命化計画に基づき、各学校の状況を把握し、計画的な施設整備に向けた情報等が整理されたところである。また、多様な児童生徒の受入れの観点から多目的トイレの設置についても長寿命化計画に基づきながら、利用者にとって安全安心な学校施設となるよう適切な維持管理に努めていく。なお、現在、多目的トイレは境小学校体育館、水之上小学校体育館に設置されている。

【その他の質問】

○林道海瀉麓線について  
○旧なぎさ荘跡地の今後について



篠原 静則 議員

新型コロナウイルスへの対応は

**問** 新型コロナウイルスが令和5年5月に季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行し、3か月が経過したが、市はどのような対策を講じているか。

**答** 国の方針に基づき、市民が感染対策等の判断に資する情報提供とし、5月に5類変更に伴うリーフレットの配布、ホームページで国・県・市の情報を公表している。また、市民からの相談・問い合わせについては、不安解消や適切な療養に向けての助言や案内を行っている。今後も市民の不安解消と命を守るため、積極的な情報発信に努めていく。

処理水の海洋放出による輸出への影響は

**問** 平成23年3月の福島第一原発事故で発生した処理水の海洋放出により、漁業関係者への風評被害等の影響が懸念される。様々な形で販路拡大を続けたブリ、カンパチの中国や香港等への国外輸出の影響や対策は。

**答** 牛根、垂水の両漁協における令和4年度の国外輸出の実績は牛根漁

協が北米・タイ・韓国を中心にブリを約3900トン、垂水市漁協は北米・タイを中心にカンパチを約100トン輸出している。影響について両漁協に尋ねたところ、牛根漁協は中国や香港との取引はなく、垂水市漁協は香港と取引があるが、全体取引量の約8%で輸出货量も少なく、現段階では影響は僅かであると伺っている。しかし、カンパチの天然稚魚購入を中国に依存しており、中国の情勢が悪化し、規制等が厳しくなった場合、稚魚購入への影響が心配される。養殖業者にとつて死活問題にまで発展する可能性もあることから、今後の対策について漁協と引き続き協議していきたい。

職員の適材適所の配置を

**問** 職員の性格は色々ある。精神的に職場でまいつて休んだり、長く同じ課にいたりするといった声を聞く。そこで、市長は職員の個性・能力・適正を組織の中でどう生かしているか。

**答** 公約に掲げた様々な政策をよりスピーディーに確実に達成するためなどのような形で職員の能力を最大限に生かしながら配置をしていくかということになるが、できるだけ希望を聞きながら、向き不向きを含め、全体が上手く回っていくことを考え、できる限り対応していく。



新原 勇 議員

旧牛根中グラウンド整備について

**問** 牛根中学校跡地を活用したグラウンドゴルフ整備は土を入れ替えて垂水小学校・中央中学校の様に10年は草の生えにくい土のグラウンドにするのかまたは、天然芝なのか人工芝なのか、また施工後の管理はどの様にするのか

**答** 令和5年6月に作成された第2期牛根地区の振興計画に於いて、地域に目指す将来像である、ありたい姿の一つにイベント等を通して世代間、地域間の交流の場を作りたいと示され、中学校運動場を使って、他地区との交流を図る等、イベント会場として使用すると掲げており、グラウンドゴルフ場の整備に取り組みでいく。グラウンド整備の考え方、維持管理等についても牛根地区の地域住民方々と市役所関係課と意見交換会を数回開催し牛根地区の皆様が将来にわたり利用して頂く



旧牛根中学校グラウンド

交流人口について

**問** 交流人口に対して両道の駅は成果がそれぞれ出ると考える。当初は、両道の駅から商店街へお客様を迂回させていく構想もあったが、まだ実現には至っていない、地元商店街の活性化に向けて両道の駅とどう連携したのか。

**答** 道の駅を訪れた方が地元商店街にもお越しいただく方法として、まず地元商店街を知っていたり、必要があり、本市として写真付きの市内飲食店ガイドマップを令和3年度に作成し、道の駅を始め市内宿泊施設などに置いて頂いている。飲食店ガイドマップは、観光パンフレットと併せて、各種物産展やスポーツ合宿、千本イチヨウシーズンには駐車場に設置するなど周知に努めていく。この2年間で、廃業・新規開店したお店もあることから、最新の情報を提供できるよう更新作業を行う予定であり、またスマートフォンを活用による詳しい情報検索が出来るような構成も検討していく。

【その他の質問】

- ふるさと納税について
- 消防団募集について
- 中央地区の雨水・冠水対策について



宮迫 隆憲 議員

農政について

**問** 物価高騰や大規模な災害が増えているが、本市として自然災害等に見舞われた農業生産者の方々への支援体制について伺う。

**答** 農業者の営農再開のため、基盤となる農地や用排水路等の復旧作業について、地域の声を受け止めながら早期に完了できるように取り組んでいる。さらに、農業用機械やビニールハウス等の園芸施設が被災した場合の修理や買換え、次期作に向けた種苗などの購入について国・県と連携し、その経費を補助するなど営農再開に向けた支援に努めているところである。その他にも、農業共済の農作物共済、園芸施設共済、収入保険の各種制度がある。自然災害等に見舞われた場合には行政の支援も当然必要になってくる場合もあるが、事業継続のためにも事業主自身での対策も重要であることから、垂水市としても収入保険の保険料を一部助成するなど加入促進に取り組んでいる。今後、農業者に寄り添った支援に努めていきたい。

市内の保育環境について

**問** 今、本市では0歳から2歳児の

無償化の動きがあるが、保育環境のひっばくにつながる可能性があるため、市独自で園または保育士の方々に支援できないか伺う。

**答** 市の支援としては、人材の確保が喫緊の課題であることから、保育士の募集をしている教育・保育施設は垂水市企業ガイドブックに掲載している。また、鹿児島県保育士人材バンクの登録者情報を市内保育施設から相談があった際に紹介できるように、令和5年7月1日より鹿児島県と職業紹介事業に係る業務提携契約を締結した。財源を伴う新たな市独自の支援は、継続するための財源確保を検討する必要があることから、現在のところ保育士支援に関する事業については、国・県から情報提供を受けた際は随時、市内保育施設に案内している。また今後、開催予定の園長会議等における教育・保育施設の意見や要望等を踏まえ、今後の取組について協議し、特に子育て支援の課題は重要であることから、常に現場の声を聞きながら前に進めていく。

【その他の質問】

○道の駅、森の駅について  
○鹿児島国体について



北方 貞明 議員

旧垂水海軍航空隊跡地特殊地下壕の調査について

**問** 浜平の旧垂水海軍航空隊跡地特殊地下壕は県の治山工事の予定地であり、戦跡文化的価値があるのではないかと伺うことから、今年度831万円が調査費・研究費として計上された。現在、治山工事は休止しており、地域の安全・災害防止のため再開が望ましいと思うが、治山工事との関係について伺う。

**答** 旧垂水海軍航空隊跡地特殊地下壕の現状と治山工事の関係について初めての調査であり、仕様書作成に関係機関の協力が必要だったことから今月中旬に入札を行い、業者と契約する予定である。9月中旬に文化財保護審議会を開催し、調査内容と計画について説明することとし、その後1〜2回程度、文化財保護審議会を開催し、情報共有することとで現状で保存するのか、データにより保存するのかを含めた方向性を協議したい。治山工事との関係性については、地権者から同意が得られ、安全性を重視するとなると治山工事

を再開することが望ましい。今後、文化財としてのどのような形で保存し、活用していくのか、治山工事の状況や調査内容を踏まえて、文化財保護審議会委員会の委員の方々とは慎重に協議する必要がある。

旧垂水港元垂水地区の漁船係留について

**問** 旧フェリー垂水港は外防波堤・中防波堤の延長、防風ネットの設置など、元垂水港も沖防波堤一文字が設置され、両港とも以前に比べ静穏度も大変和らいでいるが、台風時は桜島の身代港に避難し、また陸上げされた漁船もあり、冬の北西の風でも港内の静穏度問題であり、安心して係留できる防波堤建設はできないか。

**答** 旧垂水港元垂水地区は、平成21年に一文字防波堤の延伸要望書が垂水市漁業協同組合から提出され、本市からも大隅地域振興局に要望している。旧垂水港については、港を利用されている漁業関係者を代表して、垂水市漁業協同組合から市長宛てに要望書を提出していただき、現地の状況を記録した映像や画像を添えて、大隅地域振興局建設部宛へ進達したいと考えている。



持留 良一 議員

安心安全に過ごせる学童保育へ

**問** 安心して過ごせる学童保育目的達成のために、行政の果たすべき責任と対策について、1点目は、学童保育の他施設の活用で、指導員への過重労働等にならなかったか。2点目は、不承諾児童（待機児童）解消のために、実態にあった「整備計画（人数の見込み）」をつくる責任が市にあるが、どのように取り組むか。実効性があるものにしていくため、学校との協議をどう取り組んでいくのか。3点目は、長期的に安定して働くことができるよう、待遇改善を図り、指導員の確保に努めることが引き続きの課題であるが、どう具体化していくかを問う。

**答** 夏休み期間中は、利用児童が増加することを見越して補助員を増員し対応した。来年度より早い時期に利用意向を把握すべきと判断し、9月に各クラブの担当者と会議を開催した。学校との協議では、余裕教室の見通しが立たず、引き続き協議していく。児童支援員の処遇改善については、国や県の助成制度を利用して改善を図った。財源も含め、現状よりベターな方向を探り出していくということを検討していく。

エアコンは酷暑から命を守る必需品

**問** 低所得者世帯への助成について考えを問う。今年も、「エアコン使用が命綱」「エアコンは酷暑から命を守る必需品」の主張が行政サイドから宣伝物等で案内された。しかし、低所得層世帯にとっては物価高騰等が大きく家計に影響し、買う、買替えにも重たい負担になっている。対策の必要性について認識を問う。

**答** 非課税世帯には、この間、令和3年度、4年度と給付金が実施された。令和4年度は本市独自の住民税非課税世帯には5万円を給付した。

**問** 一点目は、免許証の返納で自家用車を利用できない高齢者等への支援を求める。2点目は、路線バス利用者への補助の検討が求められている。3点目は、高齢者や障がい者が利用しやすい路線バスになるよう行政としても努力することが求められる。ノンステップバス（低床バス）の導入への取組である。どう解決していくかを問う。

**答** 組織横断的に情報収集等を行い、現行支援制度の見直しや本市にあった支援策を見いだせないか検討していく。

**問** どこに住んでいても安心に暮らせる交通対策を

賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)

氏名 議案番号・議案件名	高橋理枝子	宮迫隆憲	前田隆	新原勇	池田みずず	梅木勇	堀内貴志	川越信男	篠原静則	感王寺耕造	持留良一	北方貞明	池山節夫	川畑三郎	○ 賛成	× 反対	審議結果
	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	9	4	
議案第44号 和解及び損害賠償の額を定めることについて	○	○	×	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	○	○	×	×	×	○	○	9	4	原案可決
議案第45号 令和5年度垂水市一般会計補正予算（第3号）案	○	○	×	○	○	○		○	○	×	×	×	○	○	9	4	原案可決
議案第52号 令和5年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	○	○	○	10	3	原案可決

## 令和5年第2回臨時会に提案された件名と結果一覧

番号	件名	内容	審議結果
議案 第44号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	水道管損壊に伴う逸失利益を賠償し、和解しようとするもの	原案可決
議案 第45号	令和5年度垂水市一般会計補正予算（第3号）案	上記議案における損害賠償額の補正	原案可決

## ～ 議員の主な活動 ～

【令和5年8月～令和5年10月】

○8月22日（火）～23日（水）

大隅総合開発期成会 中央要望（東京都）

○8月24日（木）

鹿児島県公立学校施設整備期成会評議員会  
（鹿児島市）

○8月31日（木）

錦江湾横断道路推進特別委員会設置報告  
に関する鹿児島県知事表敬（鹿児島市）

○9月22日（金）

鹿児島県議会傍聴（鹿児島市）

9/22 鹿児島県議会傍聴10/5 桜島火山活動対策議会協議会協議会中央要望

※3班に分かれて8名の議員で参加

○10月5日（木）

桜島火山活動対策議会協議会中央要望  
（東京都）

○10月19日（木）～20日（金）

鹿児島県市議会議長会 政務調査  
（秋田県）

○10月23日（月）

小規模市ネットワーク議長会 鹿児島  
県要望（鹿児島市）

## 令和5年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第9号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度垂水市一般会計補正予算(第4号))	台風6号による災害復旧費を執行するもの	承 認
議 案 第42号	令和4年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和4年度垂水市水道事業会計の剰余金の処分や決算を審査するもの	原案可決及び認定
議 案 第43号	令和4年度垂水市病院事業会計決算の認定について	令和4年度垂水市病院事業会計の決算を審査するもの	認 定
議 案 第46号	垂水市立公園の設置及び管理に関する条例 案	すでに公の施設として条例で定めている都市公園を除く本市の公園についても、位置付けることを目的に、新たに制定しようとするもの	原案可決
議 案 第47号	垂水市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 案	本市の都市公園の管理・運営について、指定管理者制度による運営を行うことができるよう、条例を改正しようとするもの	原案可決
議 案 第48号	垂水市火災予防条例の一部を改正する条例 案	省令の一部改正に伴い、条文を整理するもの	原案可決
議 案 第49号	垂水市教育委員会委員の任命について	福里由加氏を教育委員会委員に任命するもの(再任)	同 意
議 案 第50号	法定外公共物境界確定請求に関する訴えの提起について	認定された筆界を不服として、訴えを提起するもの	原案可決
議 案 第51号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合理約の変更について	鹿児島県市町村総合事務組合の規約の変更が必要になり、協議依頼に基づき上程するもの	原案可決
議 案 第52号	令和5年度垂水市一般会計補正予算(第5号)案	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金、学校給食用コンテナ配送車の購入等に係る増額	原案可決
議 案 第53号	令和5年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	国民健康保険税における産前産後保険税免除制度の創設に伴う費用の補正	原案可決
議 案 第54号	令和5年度垂水市交通災害共済特別会計補正予算(第1号)案	会計年度任用職員に係る人件費に係る増額	原案可決
議 案 第55号	令和5年度垂水市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	令和4年度の決算に伴うものが主なもので、繰越金や国・県等への返還金、一般会計への繰出金及び積立金等の補正	原案可決
議 案 第56号	令和5年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号)案	令和4年度繰越金の確定に伴う補正	原案可決
議 案 第57号	令和5年度垂水市水道事業会計補正予算(第1号)案	水道事業における経営戦略を見直すための業務委託料等に係る補正	原案可決
議 案 第58号	退職金返還請求権の権利の放棄について	債務者が亡くなり、相続対象者についても相続放棄が行われ、請求権行使に実効性がないとして放棄するもの	原案可決
議 案 第59号	垂水市学校給食費損害賠償請求権の権利の放棄について	債務者が亡くなり、相続対象者についても相続放棄が行われ、請求権行使に実効性がないとして放棄するもの	原案可決
議 案 第60号	令和5年度垂水市一般会計補正予算(第6号)案	大崎町と連携して移住体験プログラムを実施する事業に要する費用等に係る補正	原案可決
請 願 第1号	0～2歳児の保育料も無償化を求める請願	住民税課税世帯を含め、全ての0～2歳児の保育料無償化を求める請願	採 択
意見書案 第1号	国の保育士配置基準の抜本的改善を求める意見書の提出について	保育士の給与格差の是正も含め、賃金水準の引き上げなど処遇改善を要望するもの	原案可決

# 垂水市の史跡めぐり

## 勝軍地蔵

垂水市民なら一度は聞いたことがあるが、未だに拝見したことがないという方も多くおられると思います。中央に地蔵菩薩像、左に毘沙門天像、右に多聞天像が並んでいます。特に中央の地蔵菩薩像198・5センチメートルの圧倒的な存在感には魅了されます。

垂水市の中心地から本城川をさかのぼること約3キロメートル、本高城山麓の御堂にまつられています。昭和28年には鹿児島県指定最古の木仏像で有形文化財になりました。

一五〇六年、高城城主、肥後文次郎盛明が太守島津忠昌を施主として子孫繁栄、武運長久、領内安全を祈願して建立したものです。加治木の



岩屋寺住持で宝珠坊快扶により制作されました。

垂水は鎌倉から室町にかけて多くの豪族がいました。肥後氏は平清盛の孫行盛ともいわれ、十三世紀種子島から垂水に移り、高城を中心に250年間治めました。皮肉なことに一四二二年、源頼朝の重臣畠山重忠の同族である伊地知氏が垂水に来てその後、肥後氏は滅びることになります。まさに垂水の源平合戦です。

是非勝軍地蔵を拝見しながら500年前の垂水に思いを馳せてはいかがですか。



頭部納入品仏画

## 編集後記

かごしま国体が、10月7日から開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で2023年に延期が決定され、大会関係者の皆様方は、大変ご苦労されたことと思います。今大会の総合開会式には、天皇皇后両陛下が来鹿され、御祝辞を述べられました。翌8日には、本市で行わ

## 市議会へ行こう

令和5年 第4回定例会会期日程 (案)

月	火	水	木	金
11/20	21	22	23 勤労感謝の日	24 本会議
27	28	29	30	12/1
4	5 一般質問	6 一般質問	7 産業厚生委員会	8 総務文教委員会
11	12	13	14	15 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。  
(本議会の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。)  
※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。  
※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前日の11月16日です。  
※11月24日、12月15日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。  
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

れたフェンシング競技を観戦なされました。

天皇皇后両陛下の垂水市への行幸

啓は太陽国体以来51年ぶりのことです。その後、鹿屋市に向かう際は大勢の方々に奉送迎していただいたことに感謝申し上げます。議会としても、この幸せと皆様方への感謝の気持ちを忘れることなく、精進してまいります。

今年も残り2か月を切りました。体調管理に十分ご留意されますようお願い申し上げます。



太陽国体 炬火リレーユニフォーム